

## 新発田市 令和5年度 第3回定例記者会見

1 日 時 令和5年5月29日(月)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

### 【市長発表項目】

○令和4年度産地交付金(加工用米安定生産支援分)の事務処理について

交付金の申請手続において、市から具体的な申請方法等の周知がなされず、一部の農業者が交付金を満額受給できなかった事案の説明。

○しばたあやめまつりの開催について

初夏の花、新発田市の花である「アヤメ」を観光資源としてPRしたい。

○今・得プレミアム商品券を販売!

物価高騰により影響を受けている消費者及び事業者に対する経済支援策について周知したい。

○蔵春閣 SHIBATA キャンペーンについて

7月1日のグランドオープンと、貸館開始に伴う各種の取組についてPRしたい。

○令和5年度「城下町新発田まつり」開催決定

「しばた総まつり！」を合言葉に、念願の通常開催とする城下町新発田まつりをPRしたい。

### 【その他】

○商店街クリーン作戦を開催します

○ライトミュージックコンサート2023

○手工芸・水墨画、いきいき作品展

○市民コンサート2023

## あいさつ

- 昨年 8 月 3 日は大雨により、緑町・本庁界限が冠水しましたので、雨が降ると心配になります。2 年連続でありますから、中田川の改修を急がなければいけないと改めて感じたところでもあります。村上や関川村さんでは大変な水害がありましたが、ほぼ整備は終わって、何とか作付けにこぎつけたということで大変喜んでいただいているところです。
  
- 宮崎議長さん、そして小坂副議長さんという形で新しい議会がスタートいたしました。私も 8 期 32 年市議会議員をさせていただきました。私が所属していた政和会は、私が議員時代の 32 年のうち 28 年、議長会派を形成していました。政和会は、一番少ないときで 3 人、一番多いときで 7 人でしたので、平均すると約 5 人のメンバー構成でありました。議員定数が 32 人から 34 人でしたので、わずかなグループで議長会派を形成していたということで、もめるというのは当然なわけではありますが、最近の議会をみますと、あまり人事でもめない、ある意味で大人の議会だなと思っているところでもあります。それでは項目に従い、説明させていただきます。ぜひ一つでも多く取り上げていただいて、新発田市の発信をサポートしていただきたいと思います。

**それでは、会見項目を説明いたします。**

**最初に、令和4年度産地交付金の事務処理についてです。**

- 産地交付金の加工用米安定生産支援分とは、主食用米の生産調整及び水田のフル活用の一環として行う加工用米の生産において、低コスト化につながる技術に取り組んだ場合に、その作付面積に応じて国が支援金を交付するものです。
- この加工用米安定生産支援分は、令和4年度からの新規メニューであり、市において丁寧な説明が求められるところ、支援制度にかかる情報提供だけで、具体的な申請方法等の周知をしていなかったものです。
- このことにより、受給要件を満たしているものの、一部の農業者の皆様からの申請手続きがなされず、交付金を受け取ることができなかったというものであります。
- 対象となる農業者は、139件、金額では約1,300万円であります。
- この報告を受け、国の要件と同様の取組を行った対象となる農業者の皆様に対して、市が新規に市単独の補助事業を設け、支援したいと考え、6月定例会に上程する準備を進めております。
- 同時に、適切な事務処理をしなかったことにより農業者の皆様にご迷惑をおかけしたことに対し、関係職員を処分するほか、管理・監督者責任として、わたくし市長と副市長も併せて処分の検討をしているところであります。

## 次に、しばたあやめまつりの開催についてです。

- 後ほど、新発田まつりのご紹介をしますが、その前に、まずはあやめまつりに是非お出でください。初夏の花、そして新発田市の花、「アヤメ」であります。日本四大あやめ園に数えられる「五十公野公園あやめ園」に、約 300 品種 60 万本のアヤメが咲き誇ります。
- 6 月 14 日(水)から 6 月 25 日(日)までの 12 日間は、ぼんぼりを置き、午後 6 時から 9 時までライトアップを実施します。また、期間中の土日は、屋台やキッチンカーも登場いたします。
- 4 月末の蔵春閣オープンから、多くの方が新発田にお越しいただいておりますが、まだご覧になっていないという方には、6 月末までの無料公開期間中でもありますので、この機会に是非蔵春閣へお越しいただき、そしてあやめ園にも足を延ばして、初夏の新発田を堪能いただければと思います。

### 【日本四大あやめ園】

長井あやめ園(山形県長井市) 500 種類 100 万本  
水郷潮来あやめ園(茨城県潮来市) 500 種類 100 万本  
水郷佐原あやめパーク(千葉県香取市) 400 種類 150 万本  
五十公野公園 あやめ園(新潟県新発田市) 300 種類 60 万本

#### ※参考

瓢湖あやめ園(新潟県阿賀野市) 170 種類 30 万本

### 【しばたあやめまつり入込客数】

- ・令和 4 年度…12,572 人(12 日間)
- ・令和 3 年度…12,198 人(15 日間)
- ・令和 2 年度…中止(まつりは中止としたが、あやめ鑑賞は可能とした)
- ・令和元年度…20,448 人(24 日間)
- ・平成 30 年度…25,125 人(24 日間)
- ◆令和 5 年度目標入込数…15,000 人(12 日間)

## 次に、今・得プレミアム商品券の販売についてです。

- 昨今の物価高騰により影響を受けている消費者及び事業者に対する経済支援策を目的として、30%のプレミアムが付いた「今・得プレミアム商品券」を6月26日から販売します。
- 概要は、発行冊数30,000冊、6,500円分を5,000円で販売します。1冊の内訳は、大型店・地元専門店ともに使用可能な共通券が6枚、地元専門店のみで使用可能な専門券が7枚の計13枚となります。
- 販売場所は、市内セブンイレブン各店とし、販売対象者は、市内在住の各世帯、先着順で1世帯2冊まで購入できます。
- より多くの方に、お気軽に、そしてお得に購入いただき、家計応援や消費喚起による経済の活性化を図ってまいりたいと考えております。

|        |  |
|--------|--|
| 発行総額   | 195,000,000円   |
| 発行価格   | 1冊5,000円(6,500円分 プレミアム率30%)  |
| 販売場所   | 市内セブンイレブン各店  |
| 販売期間   | 令和5年6月26日～令和5年7月21日まで(売り切れ次第販売終了)  |
| 販売時間   | 午前9時から午後8時まで   |
| 発行券の種類 | ①共通券…商品券1枚あたり額面500円(6枚)<br>(大型店・地元専門店等ともに使用可)<br>②専門券…商品券1枚あたり額面500円(7枚)<br>(地元専門店のみで使用可能。大型店とその店内のテナントでは使用不可) |
| 購入対象者  | 市内在住の各世帯   |
| 購入限度   | 購入券1枚につき1～2冊まで   |
| 使用可能期間 | 令和5年6月26日～令和6年1月31日  |
| 購入方法   | 広報しばた6月15日号にリーフレットを挟み込み、全戸配布を実施<br>同リーフレット付帯の購入引換券が必要  |

## 次に、蔵春閣 SHIBATA キャンペーンについてです。

- 蔵春閣は、お陰様で5月17日に来場者数が15,000人を突破し、現在も市内外からたくさんのお客様に足を運んでいただいております。この勢いを一過性のものとするのではなく、本当の意味でまちづくりの起爆剤にしなければなりません。
- 今後も蔵春閣を拠点としながら、新発田の歴史・食・文化といった魅力を発信してまいりたいと考えております。そこで、7月1日（土）からのグランドオープンに合わせて貸館利用が開始されることに伴い、新発田の銘菓やお食事を堪能していただくとともに、楽しみながら商店街を回遊できる「蔵春閣 SHIBATA キャンペーン」を実施します。
- 一つ目は「貸館グルメプラン」であります。  
貸館に合わせて、市内割烹を中心とした飲食店のコース料理や各種お弁当など、新発田伝統の味を提供いたします。団体の会議や会食に貸館をご利用いただき、ぜひ豪華絢爛な迎賓館で至福の時をお過ごしください。
- 二つ目は「カフェプラン」の実施です。  
蔵春閣の入館料に加えて、400円で市内菓子店の銘菓とお飲み物を提供いたします。蔵春閣のために和菓子店が特別に作ったお菓子を月替わりで提供するとともに、ヘルシーな低糖質スイーツなどをご用意しておりますので、ぜひ何度も蔵春閣へ足を運んでいただき、季節の銘菓をご堪能ください。
- 本日は、蔵春閣で提供する新発田銘菓の一部を用意しましたので、ぜひ後ほど、記者の皆さんにも試食していただきたいと思っております。なお、7月1日のグランドオープンイベントとして、カフェプランに参加する菓子舗のご協力により、菓子購入に使用できる300円分の補助券を先着1,000名に進呈しますので、奮ってご来場いただきたいと思っております。

○三つ目は「市街地回遊プラン」です。

連日、多くの観光客が蔵春閣に来ており、併せて駅前の一部の飲食店では、行列ができているとお聞きしております。この勢いを蔵春閣周辺だけに留めておくのは勿体ない。蔵春閣から市街地へと人の流れを生み出し、商店街への回遊を促すことを目的とした「市街地回遊プラン」を実施します。

○具体的には、蔵春閣入場券の半券を商店街の参加事業店に提示していただくことで、商品の割引やオリジナルサービスの提供を予定しております。この機会に是非、市内の観光スポット、お食事処、お土産屋さんなどにお立ち寄りいただき、城下町しばたのまち巡りを楽しんでいただければと思います。

## 最後に、令和5年度「城下町新発田まつり」開催決定についてです。

- 新発田市における夏の華は、なんと言っても「城下町新発田まつり」であります。昨年はコロナ禍の影響によって、様々な制限を敷かせていただき開催いたしましたが、今年は、制限や制約を設けない形で開催いたします。
- コロナ禍はもとより、それ以前よりも、さらなる活気ある新発田としていくために、市民総出で創り上げる「しばた総まつり！」を合言葉に、8月23日の「市街地花火と和太鼓の饗宴」を皮切りに、8月29日の「帰り台輪」まで、熱い市民の皆様の熱量をもって、城下町しばたまつりを大いに盛り上げていきたいと考えております。
- 今年は、当市の新しい宝である蔵春閣がオープンし、来場者数は、早々に年間目標の15,000人を超え、この土日で20,000人も達成したところであります。この新たな観光拠点が新発田まつりの中心地にあることから、これからの新発田、そして日本の未来を担う子どもたちに、大倉喜八郎翁の「進一層」の精神や、新発田の歴史・文化を学べるような関連イベントを、まつり開催期間中に実施する予定としております。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。